

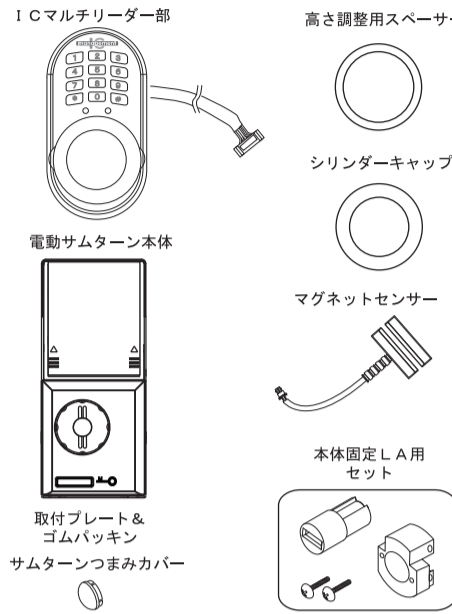
## 作業上の注意

当社製品は、10万回以上の動作試験をおこなっておりますが、取付られる扉の建付けが悪い場合、駆動ユニットの耐久性を著しく損ねる場合があります。扉がクローザーなどで自然に閉まった状態で、鍵のデットボルトがスムーズに施開錠できるか確認してください。手でサムターンが軽く回っても、デットボルトがストライクに擦れている場合があります。デットボルトの内外面を見て擦れていないか確認し、擦れている場合は建付け、ストライクの位置を調整してください。

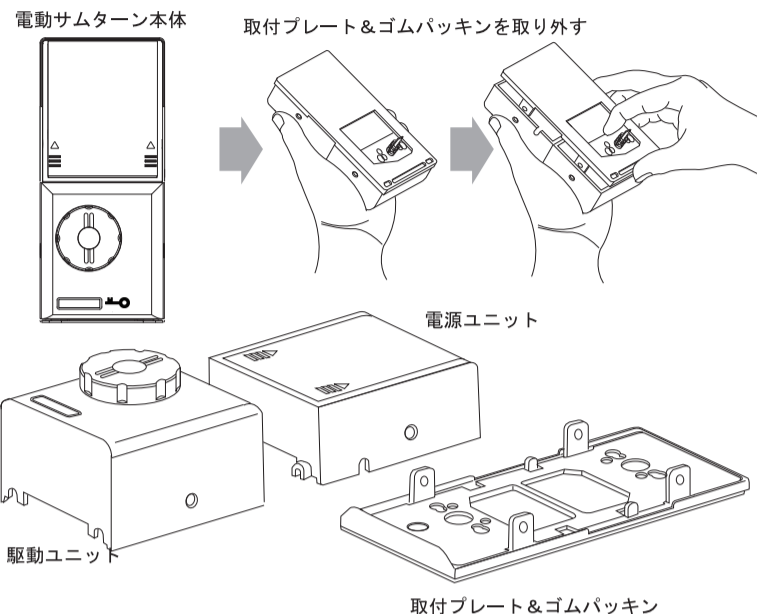
- 作業中ドアが閉まらないようにドアストッパーや障害物などで必ず固定して下さい。
- 電動ドライバー等は、ネジの締めすぎやネジ山をつぶす原因になりますので使用しないでください。
- ネジや小さな部品を無くさないよう、回りを整理整頓した上で作業を始めてください。
- 取付マニュアル及び、取扱説明書をよく読んでから作業を始めてください。
- 取り外したサムターンは現状復帰や緊急対応するときに必要です。無くさないよう大切に保管してください。
- 取付の前に現在の鍵状態を確認してください。デットボルトがストライクに接触したり、錆びたり汚れて重い場合や、ドアが閉まったときリバウンドする場合などは、必ずメンテナンスしてください。

## 取付準備

### 箱から必要な製品・部品を用意



### 電動サムターン本体を各パーツに分解



### スペーサーの準備

キーシリンダーのリングを引っ張ってドアとの隙間を調べる

隙間 (mm)	スペーサー枚数
2 ~ 4	0
4 ~ 6	1
6 ~ 8	2
8 ~ 10	3

※あくまで目安です。枚数の調整が必要な場合があります。

### 出幅調整

バックセットの確認

ドアの端面からキーシリンダーの中心までの距離

標準品の場合
38mm
51mm
64mm
76mm

マグネットセンサーの出幅調整カバーの長さをバックセットの寸法に合わせてカッターなどで切断します。

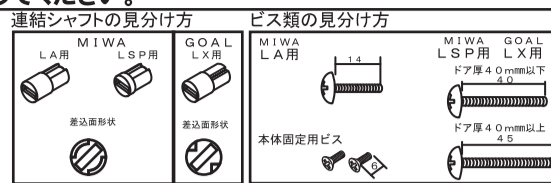
※不要な部分は必ずカットしてください。組立ての際、障害となります。

長さの目安

※あくまで目安です。実際に寸法を計ってカットしてください。

内開きドアのとき 51, 64mm  
外開きドアのとき 76mm

※ケーブルを切断しないよう注意!



## ICマルチリーダーのドアへの取付

注意！：キーシリンダーの下穴は鋭いエッジの状態となっています。ヤスリで十分エッジを取り、ケーブルを痛めないようにしてください。

### シリンダーとサムターンを外す

- ① 鍵ケースフロントプレート
- ② サムターン

① ドア側面にある鍵ケースフロントプレートのネジをプラスドライバーで外します。

② マイナスドライバー（精密ドライバーを推奨）で4本の固定ピンを外して、サムターンとキーシリンダーを外します。

注意！：固定ピンを抜くときは、キーシリンダーやサムターンを必ず手で押さえて下さい。落下して足を怪我する可能性があります。

### ICマルチリーダーのケーブルを通す

- ③ 鍵ケース
- ④ ICマルチリーダー部

③ ドアハンドルを外して、鍵ケースの固定ネジを外し、鍵ケースを引き出します。但し、キーシリンダーを取り外した穴にケーブルを通せる隙間があれば、鍵ケースを外す必要はありません。※ドアハンドルの取り外し方が不明の場合は、ハンドルメーカーにお尋ね下さい。

④ ICマルチリーダー部のケーブルをキーシリンダーの穴を通してサムターン側の穴へ貫通させ、鍵ケースとハンドルを元に戻します。ケーブルは出来る限り鍵ケースの上部を通します。※ケーブル保護のため、キーとサムターン穴上部の内から外に養生テープやビニールテープを貼ってください。

### 固定する

- ⑤ ICマルチリーダー部
- ⑥ ICマルチリーダー部

⑤ ※取付にくい場合は、下穴の上部をヤスリなどで多少拡張する。

⑥ ドアとキーシリンダーの隙間にあわせてスペーサーの枚数とキーシリンダーをICマルチリーダー部の中に入れます。

⑥ キーシリンダーを組み込んだICマルチリーダー部を鍵ケースの穴にはめ、ドア端部とリーダーが並行になるよう位置を調整してから、2本の固定ピンで取付けます。

**要注意**  
固定後に回転調整すると断線します。並行

## 電動サムターン本体の取付

注意！：ケーブルは慎重に取り扱ってください。傷つけたり、鋭角に折り曲げたり、挟んでつぶしたりすると、電圧異常や漏電により、誤動作、登録・認証エラーなど正しく作動しない場合があります。

### 固定金具の取付

- ① 固定金具
- ② ケーブルの挟み込みに注意!

※リーダーからのケーブルは、約5cm程度確保し、不要な部分はドアの中に収納してください。電源ユニットの中で折り曲げて収納すると誤動作を起こす場合があります。

① 固定金具の切かき部を上にして、サムターンを取り外した穴に、ケーブルを切りかき部の隙間に誘導しながら鍵ケースの穴にはめ込みます。

② 固定金具をしっかり指で押さえて、サムターンを固定してあった2本の固定ピンを押し込み取り付けます。

### 取付プレートの調整

外から見て左開きドアの場合の向き

バックセット 64mm 76mm のとき

マグネットセンサー取付のためゴムパッキンの一部を切る

バックセット 扉の端面

バックセット 38mm 51mm のとき

取付プレートだけを外して180度回転させはめる

ゴムパッキン

※外から見て右開きのドアの場合は左開きの逆であわせる。

### 取付プレートの取付

- ③ 取付プレート
- ④ 取付プレート
- ⑤ 取付プレート

③ 取付プレートとゴムパッキンを重ねてケーブルをプレートの大きな穴を通してサムターン穴に当てます。

④ 取付プレートの中心の丸と鍵ケースの中心軸が重なるよう調整し、付属の2本のビスでプレートが動かなくなるまで締めます。

注意！ 表側のICマルチリーダーが動かなくなる程度で十分です。あまり強く締めるとドア板が変形することがあります。

⑤ 連結シャフトを固定プレートの中心穴に差込み、連結シャフトの切かき部と鍵ケースの切かき部が噛み合うまで押し込みます。

注意！ 連結シャフトが取付プレートより突出する場合は、同梱のLSP用の連結シャフトをご使用ください。

### センサーの固定

- ⑥ マグネットセンサー
- ⑦ マグネットセンサー

⑥ マグネットセンサーのコネクターを電源ユニット指定のソケットに挿し込む。

⑦ マグネットセンサーをユニット側壁の溝に押し込み固定する。

※バックセットにあった出幅で調整

### 電源ユニット・駆動ユニットの取付

- ⑧ ICマルチリーダー
- ⑨ ICマルチリーダー
- ⑩ ICマルチリーダー
- ⑪ ICマルチリーダー
- ⑫ ICマルチリーダー

⑧ ICマルチリーダーからのコネクターケーブルを電源ユニット中央下のソケットにしっかり挿し込む。

⑨ ゴムパッキンの溝に沿って電源ユニットをはめ込み、梱包時に使用されていたビスで固定する。

⑩ 電源ユニットからのコネクターケーブルを駆動ユニットの上下にあるソケットの近い方にしっかり差し込む。注意！使用するソケットにゴムキャップが付いている場合は、使用しないソケットにはめ直す。

⑪ 電源ユニットを1回転ひねり、ケーブルをねじった状態にすると回転シャフトとの干渉が無くなります。

⑫ 取付プレートとモーターブロックの間にケーブルを挟まないよう十分注意する。

⑬ 回転シャフトが、連結シャフトの穴にはいるよう調整しながら差し込みゴムパッキン溝に沿って駆動ユニットをはめる。注意！駆動ユニットをはめる際、モーターブロックと取付プレートの間にコネクターケーブルが挟まれないよう指で回避しながらはめる。

⑭ 同様にビスで固定する。

### ドア開き方向の設定

⑬ ドアの側面から見てキーシリンダーが左右どちらに付いているかでデップスイッチを変更する。

左側にキーシリンダーがある・・・①に設定する  
右側にキーシリンダーがある・・・②に設定する

※設定後は、Open/Closeボタンを2回押しリセットしてから電池を投入してください。

### ドア枠センサー取付

⑭ 電源ユニットのマグネットセンサーのすぐ横のドア枠に、もう一つのマグネットセンサーを隙間が10mm以内になるように貼り付ける。

※貼り付け面はよく油分をとる。

### キャップの取付

⑮ キーシリンダーキャップ

⑯ キーシリンダー目隠し用キャップ

⑰ キーケースフロントプレート

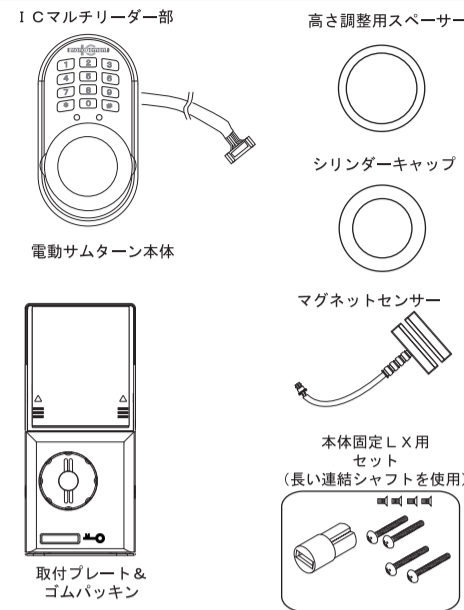
⑱ デップスイッチカバー

⑭ 鍵ケースフロントプレートをビスで止め、シリンダーキャップを取り付けます。(必要に応じてデップスイッチカバーを取り付けてください)



## 取付準備

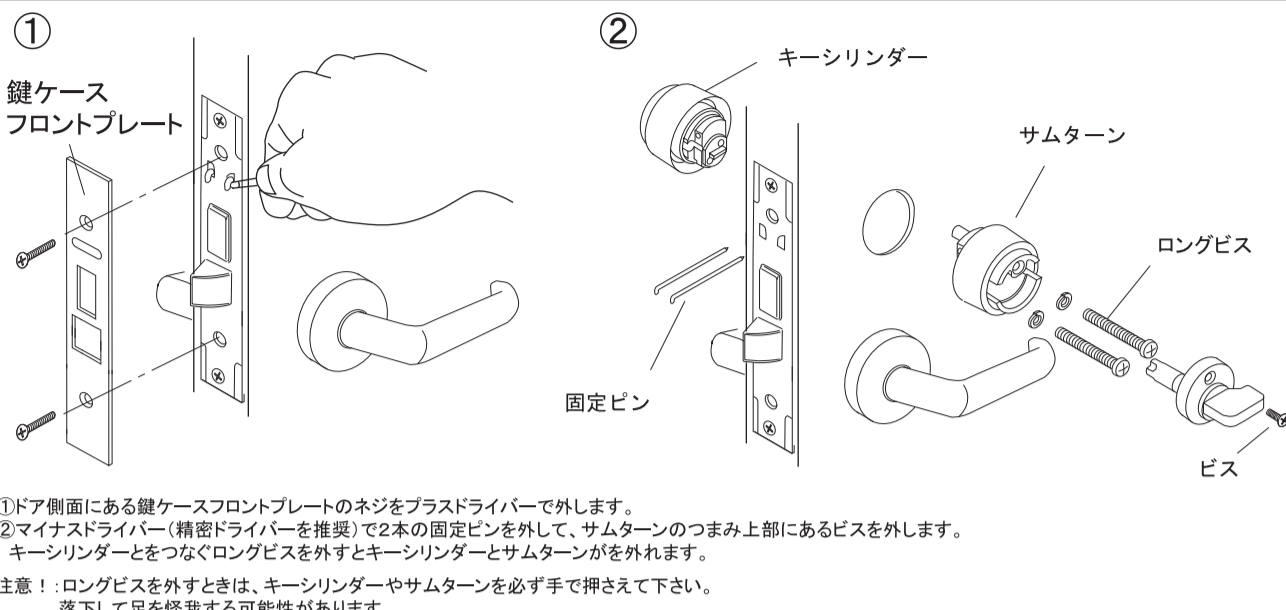
### 箱から必要な製品・部品を用意



以降の取付準備は裏面のMIWA LAタイプを参照

## ICマルチリーダーのドアへの取付

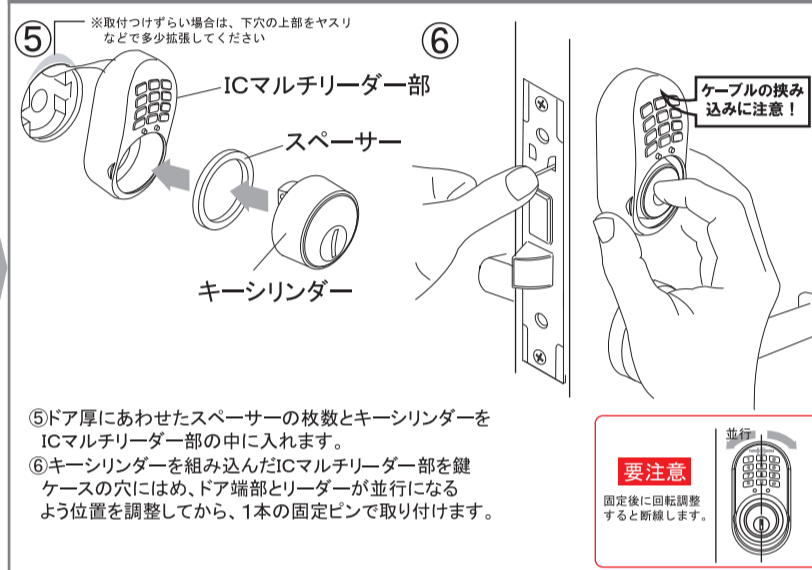
### キーシリンダーとサムターンを外す



### ICマルチリーダーのケーブルを通す

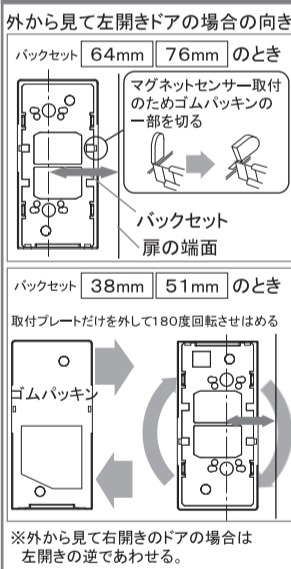


### 固定する

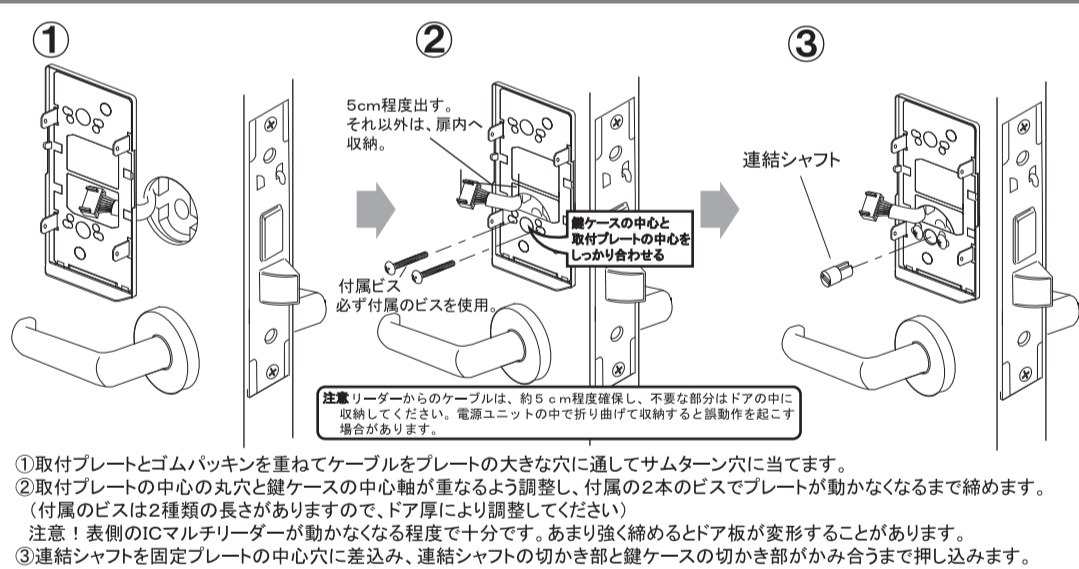


## 電動サムターン本体の取付

### 取付プレートの調整



### 取付プレートの取付



以降の手順は裏面のMIWA LAタイプを参照

# Management Lock II DUAL II

## 取付後の動作について

MIWA GOAL 共通

**重要!**

### ●電池セットしてからの初期動作について

テンキーの※キーを押すだけで作動します。

- IC登録をするまでは、オートロックによる締め出しを防止するプログラムが働きます。その為、ICマルチリーダーの※キーを押すだけで施錠動作をしますが、異常ではありません。IC登録後は、通常機能のプログラムが自動的に立ち上がります。

### ●カード登録前に不正動作が起きた場合

- カードを登録する前に施錠状態でマグネットセンサーを剥がしたり落としたりすると警報音が鳴ります。その場合、本体を出荷前の状態に戻さないかぎり止めることはできません。本体の取付が完了したら、速やかにカード登録を実施してください。

※出荷前の状態に戻すときは、販売代理店や設置業者にお問い合わせください。  
※マネジメントロックBモードで出荷された製品は、Aモードに戻ります。

### ●開錠・施錠動作がスムーズでない場合

- 取付後、サムターンつまみや、Open/Closeボタン、ICでの開錠施錠動作を行ったときに、スムーズな開閉動作が行われなかった場合は、回転シャフトがキーシリンダーの一部に接触していることが考えられます。その場合は、駆動ユニットを取り外して、回転シャフトの5mm間隔で刻まれている線に合わせて折り、短くしてから再度取り付けを行ってください。
- 鋳造品の連結シャフトの角穴には、まれにバリが発生することがあり、回転不良の原因となる場合があります。連結シャフトのバリや回転シャフトのエッジをヤスリなどで処理してから、再度取付を行ってください。

### ●マグネットセンサーを付けなかった場合

- マグネットセンサーを本体取り付けなかったり、忘れてしまった場合は正しく動作しません。必ずマグネットセンサーを装着してください。

### ●マルチリーダーが反応しない場合

- ICマルチリーダーに触れても反応しない場合は、配線ケーブルがキーシリンダーに挟まれたり、折れ曲がっている場合があります。コネクターの勘合を確認の上再度取り付けを行ってください。